



七里地区 社会福祉協議会

【発行】
会長 富張道雄
【編集】
広報部

〒337-0014
さいたま市見沼区大谷2022-1
(敬寿園七里ホーム内)
電話・FAX 048-687-9997
<http://7sato.sakura.ne.jp/>
E-mail : nanasato-shakyo@nifty.com



旬の食材を活用



仲良く、楽しくがんばりましょう!!



ふれあい会食サービスボランティアの「いなほの会」が六月に発足し、新たにボランティア二十名の方々が研修等を重ねてきました。

料理研究家の手島悦子先生のご協力により五回の調理講習が行われ、カロリー計算および衛生面やボランティアの心得など会食事業を行う上での基本的な事項をはじめ、盛り付けからいろいろまで、美味しく食べていただける工夫なども学んできました。

当初は、なかなかボランティアが集まらず、会食事業を再開出来るか心配していましたが、各自治会長さんや民生委員の方々の協力によりボランティアが確保され、さらに一人増えまして、現在二十二名となっています。

今後さらに技量を高めていくなど一生懸命勉めさせていきますので、ご支援ご協力よろしくお願いいたします。

今の所、まだボランティアが不足している状況です。ご興味や関心のある方は是非、見学に来てください。

会食ボランティア
「いなほの会」発足



ふれあい会食サービス再開

九月二十二日（金）

この度、休止しておりました「ふれあい会食サービス」が半年ぶりに再開されました。

ふれあい会食サービスボランティアとして新たに二十名の方々が研修等を重ね、この日を迎えることが出来ました。

当日は再開を祝うような良い天候に恵まれ、八十一名の方がお見えになりました。

今回は第一回目ということで、今後の会食事業について説明し、地域包括からのお知らせの後、会食ボランティア「いなほの会」の紹介を行いました。



「いなほの会」の紹介の際には、参加者から心を込めた大きな拍手があり、ボランティアの皆さんも大変嬉しそうな顔（照れ顔）をしておりました。

献立は、お赤飯、メンチカツ、なすの白味噌あんなどバラエティーに富んだ色鮮やかな料理でした。

皆さんからお帰りの際に「大変美味しかった」「楽しみにしていました」と言う温かいお言葉を頂き、「いなほの会」の皆様、社協役員をはじめ、ご協力いただいた自治会、民生委員の方々も、ふれあい会食サービスが再開出来たことを心から喜んでおりました。

今後とも、皆様に笑顔で参加していただけるよう尽力してまいりますので、ご支援の程よろしくお願ひいたします。

広報部長 新井正典



ボランティア研修会

まずは、手洗いからしっかり洗って!!



カロリー計算



のどごし良く



食べやすく工夫



平成二十九年度 敬老会

今年も各自治会において盛大に敬老会が開催されました。

長寿を祝い、地域における見守りの一助として定着しています。

今後、益々高齢者が増加してまいりますが、皆様がこの七里地区において健康で生き生きとして過ごしていけるよう社協としても様々な工夫をしてまいります。

東宮下第一自治会

会長 猪原精二

九月十八日（月）台風による影響が心配されましたが、当日は快晴となり、自治会館において四十名（民生委員二名）の方々が出席され、敬老会を開催することができました。

式典の後、余興で松澤功雲（日本腹話術協会副理事）先生による音楽を取り入れた腹話術が行われるなど終始和やかに楽しむことができました。

この後、懇談会に入り、大いに盛り上がり終宴となりました。



タリアパレス七里駅前自治会

会長 松岡勝利

当自治会は、今年で十一年目になり、七十五歳以上の敬老会対象者は十一名でした。

当自治会は、会場の確保が難しいため、会場の確保が難しいため、

め、例年敬老祝賀会は開催せず、今年も九月に記念品としてタオルセットを、また、ご夫婦にはタオルセットとハン

カチセットを役員全員にて一軒一軒対象者のお宅にお伺いし、お渡ししました。皆様のお元気な笑顔を拝見出来、とても嬉しく思います。

これからも皆様が健康で楽しい日々を過ごされますことを心よりお祈りしております。



蓮沼自治会

会長 鶴崎敏康

九月十八日は、敬老の日である。この日は蓮沼の地でも、恒例の自治会主催の敬老会が盛大に行なわれた。

しかし、七里地区では最大の、一〇〇近く会員数を擁する蓮沼自治会では、敬老対象者の数もハンドパンではない。その数は、毎年増え続けており、今年度は、実に九二三人であった。

これらの対象者すべてにあらかじめ

記念品を届けるのは、五人の民生委員と六十人ほどの自治会役員である。毎年大変な作業になるが、これまでクリームなどは、一切なかつた。

同時に、当日は朝から敬老会の式典

が催され、式典終了後には様ざまなアトラクションが行なわれた。オープニングは、蓮沼の伝統芸能「お囃子連」の演目で、その後、民謡、歌自慢（カラオケ）、日本舞踊、手品そしてフラダンスに子どもたちの歌、踊りなどが発表され、出演した八〇人にものぼる

子どもたちには、惜しみない大拍手が鳴りやまなかつた。

子どもたちには、惜しみない大拍手が鳴りやまなかつた。

各地区別敬老会対象者数

七里地区的七五歳以上の敬老会対象者は、次のとおりです。

◇大谷	一、三八四名	（一、三〇〇名）
◇蓮沼	一、〇四八名	（九八六名）
◇風渡野	六四七名	（六一六名）
◇東門前	四八一名	（四二一九名）
◇東宮下	八〇一名	（七四四名）
◇新堤	五五四名	（五二一名）
合計	五、〇一三名	（四、七〇〇名）

（ ）内は昨年の対象者数
対象者に対する補助金が、さいたま市及び七里地区社協から各自治会に交付され、これらをもとに記念品等が贈られています。



一〇〇歳以上の方

一〇〇歳 東門前

一〇六歳 東門前

一〇三歳 東門前

一〇一歳 東宮下・新堤

一〇一歳 大谷・東門前・東宮下

一〇〇歳 大谷・蓮沼・風渡野・東宮下

一〇〇歳 大谷・蓮沼・風渡野・東宮下



まない拍手を贈り、最後には来年の出席を誓い、散会した。

超高齢社会の到来は、自治会のありかた、運営方法を変えることになります。

うだが、そうした事態も見込んで、蓮沼自治会ではその対策、対応に真剣に取り組んでいます。

いつまでも元気でお過ごし下さい。



「オペラ歌手加茂下穂先生の歌とトーク」・「ピアノ演奏」
楽しいトークでおくるオペラな音楽会

ふれあいサロン（第二十四回）

二五名参加

九月二十四日（日）
七里コミュニティセンター
今年も加茂下先生の協力により、恒例となりました。ふれあいサロンが開催されました。

加茂下先生の声量のある歌声と楽しい歌唱指導や素晴らしいピアノ演奏に芸術の秋にふさわしいひと時を過ごすことができました。

白土先生によるピアノ演奏では、さくらさくらの変奏曲・ブラームスの間奏曲、ショパンのエチュード「革命」の素晴らしい演奏に皆さん聞き入っていました。

オペラの名曲や世界の「花の歌」をはじめ、プログラム以外にも「野ばら」や「忘れな草」「サンタルチア」「フニクリ・フニクラ」など数多くの歌が披露され、会場からは大きな拍手と「ブランボー」の掛け声が掛かりました。

白土先生によるピアノ演奏では、さくらさくらの変奏曲・ブラームスの間奏曲、ショパンのエチュード「革命」の素晴らしい演奏に皆さん聞き入っていました。

第二部では、「美女と野獣」ではダンスも加わり会場を沸かせました。

加茂下先生は、オペラ「トゥーランドット」から「誰も寝てはならぬ」、「椿姫」から「乾杯の歌」を歌われました。先生の迫力ある歌声に拍手喝采。最後に皆さんで「紅葉」「ふるさと」を歌いました。名残惜しい雰囲気のうちに終演となりました。

今年は会場の皆さんに声の出し方やマイクの持ち方など歌唱指導もありました。



来年も加茂下先生が出演していただけると約束をいただきました。
九月三十日（日）開催の予定です。
皆様のご参加をお待ちしています。



十月一日から全国一斉に赤い羽根共同募金が実施されるのに併せて、三日（火）七里駅前において街頭募金を行いました。



赤い羽根街頭募金
募金額 10,000円

十月一日から全国一斉に赤い羽根共同募金が実施されるのに併せて、三日（火）七里駅前において街頭募金を行いました。



ありがとうございました。

勤め帰りの方など沢山の方々からの温かいご協力により多くの募金が集まりました。

見沼区長・福祉部長にも参加していました。

早々、共同募金会に振り込みさせていただきました。





恒例となりました、夏休み子ども講座は、定員をはるかに超える応募があり、抽選となりました。特に多かった絵画教室に関しては、来年度は二講座ができるよう検討している所です。来年度も子どもたちの夏休みの宿題のお手伝いができたらと考へていますので、是非ご参加ください。

夏休み子ども講座

「夏休みの絵を描こう」
八月七日（月）
七里公民館に一年生～五年生の良い子の皆さんのが集まり、講師である新井壽代先生の熱心な指導を受け、水彩絵具、色鉛筆、クレヨンを使いながら一生涯描いていました。
夏休みの思い出の一つとなつたこと

「絵画教室」
十八名参加



「昆虫のおはなし」

三十名参加

「昆虫の不思議な世界」

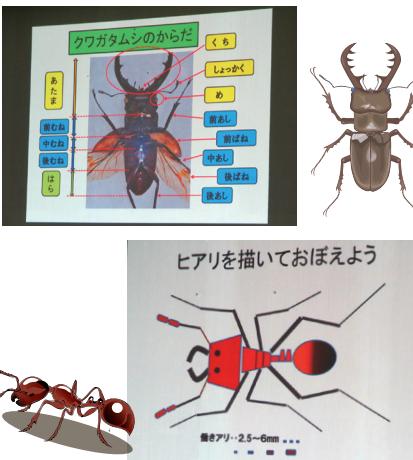
八月二十一日（火）

今年はニュースで話題になっている「ヒアリ」を中心 安東先生、萩原先生のお話がありました。

ヒアリは刺されると火傷のような激しい痛みが生じ、毒性が強く、毒針で刺されるとアレルギー反応により死に至ることもあるため、世界各地で大きな問題となっています。

ヒアリについて、特徴や生息場所などのお話を聞き、実際にヒアリを一人一人描いてみました。

また、萩原先生のクイズ形式の楽しい講義により、昆虫の体のつくりなどを学びました。



子ども達は先生の質問に元気に答えていました。
最後に草間先生のミツ蜂についてのお話がありました。

ハチミツの試食もあり子ども達は大喜び。「甘い」「味が濃い」などしぶりたてのハチミツを食べて、とても良い経験ができたのではないか。夏休みの宿題が一つできました。

子育てサロン「つくしんぼ」

六月の子育てサロン

六月二十八日（水）

子育てサロン「つくしんぼ」は、今年で九年目を迎えました。幼稚園入園前の子どもその保護者を対象にしたサロンです。毎月第四水曜日、七里コミュニティセンター内の第一集会室と和室で開催しています。

ボランティアスタッフの他に児童センターや保健センターの専門職員も加わり、季節に合わせた歌や手遊びなどを取り入れて、親子のふれあい・友達作りや悩みを気軽に相談できる場を提供しています。

取材に伺った日は、七夕の季節ということで、たくさんの星の折り紙が飾りつけされていました。お星さまの下で田をキラキラさせながら全員でキラキラ星を元気いっぱいに歌っていました。

お誕生日月のお友達をお祝いしたりダンスをしたり、とても楽しそうでした。特に紙芝居の時には真剣な眼差しで聞き入っていた姿が印象的でした。

保健師さんに身体計測をしていただきながら悩み相談ができることも、子育て真っ最中のお母さんにとって大変心強く安心できる一時でしょう。

親が不安を抱えていると、その気持ちは知らず知らずの内に子どもに伝



わってします。「つくしんぼ」はそんなお母さんに寄り添い、孤立せずに色々な話をしながらリフレッシュできるサロンです。温かい雰囲気の中、スタッフ一同毎回趣向を凝らして皆様のご参加をお待ちしています。

広報部 黒木光子

八月の子育てサロン

八月二十三日（水）

今回は七組の新しい親子含め、母親十名と子ども一十七名が参加しました。

スタッフが準備をしている中、午前九時三十分過ぎから受付を済ませた親子が、部屋の壁際に座り始めました。

十時からプログラムに従い、①はじまりの歌「さあみんなで」を歌い、会場の雰囲気を和らげ、②名前を呼びますで、子どもの名前を読み上げ、元気に答えています。③八月生まれのお誕生会では、お二人をハッピーバースデイの歌でお祝いしました。④今月の歌「山のおんがくか」を皆で合唱⑤ふれあい遊び・手遊び歌などで、親子が「ココ」「ココ」とスキンシップ、その後、自由遊び、フリークで子どもは広い室内を自由に動きまわり、母親は子どもの事を忘れ、会話を楽しんでいました。

解散の時間も近づき、子どもと一緒に相談ができることも、子育て真っ最中のお母さんにとって大変心強く安心できる一時でしょう。



に、おもちゃを片付け、かえりの歌「さらまの星」を歌い、楽しいひと時を過ぎました。

今年一回目となる「風船おじせこ」が

参加し、子どものリクエストに応えてアンパンマン・剣・うさぎ・かめなどをその場で作ってくれ、子どもたちは喜んで持ち帰りました。 広報部 石原幸男

ふれあい歌声サロン

七月の中、七里公民館と七里コミュニティセンターで行われた歌声サロンを見学に行つきました。

①「童謡・唱歌を歌おう」 七里公民館

七月十一日、七里公民館のレクホールで開催されました。

原則、毎月の第二火曜日の十三時から十五時に開催されますが、当日は、気温三十五度を超えるという暑い日でしたが、定員の一〇〇名に近い方が参加されました。

公民館での歌声サロンは「童謡・唱歌」を中心に歌います。杉原美智子先生指導のもと、福田京子先生のピアノ伴奏で始まりました。

最初の曲は「ところおぐらめかぶなつとう」という曲目で、ねばねばしたものを食べて「ネバーギブアップ」を歌いました。

その後は「海」「七つの子」「ふねせと」「たなばたさま」「夏の思い出」など十数曲を楽しんで合唱し、あつという間の一時間でした。

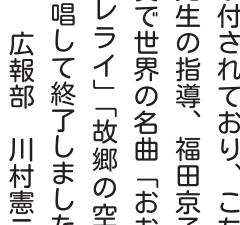
②「世界の名曲を歌おう」 七里コミュニティセンター

七月二十六日、七里コミュニティセンター一階の多目的ホールで開催されました。

こちらは、原則毎月の第四水曜日の十四時から十六時に開催され、当日は、定員一五〇名程度の椅子がほぼ満席となりました。まだ少しスペースに余裕がありますので、参加希望者については随時募集中のことです。

七月コミュニティセンターでの歌声サロンは「楽しく世界の名曲を歌おう」とサブタイトルが付されており、こちらも杉原美智子先生の指導、福田京子先生のピアノ伴奏で世界の名曲「おおブレネリ」「ローレライ」「故郷の空」など全二十曲を合唱して終了しました。

広報部 川村憲一



ばしたものを見て「ネバーギブアップ」暑さに負けず頑張りつづけた元気な曲から始まります。



◇お知らせ◇

※詳細は地区社協事務所まで



講師	内容	場所	日時	福祉教養講座Ⅱ 「健康生活支援講習会」
日本赤十字社 埼玉県支部	地域における高齢者支援のための知識・技術	七里公民館	十一月十五日（水） 十三時～十五時三十分	

内容	場所	日時	コース
お弁当・水筒・敷物持参	七里周辺コース	十一月一日（水） 九時～十五時	雨天の場合中止 七里公民館玄関前集合 約八キロ強

ふれあいウォーキング

日時	場所	内容
十一月二日（日） 十三時～十五時	七里コミュニティセンター	マンドリン演奏と解説 エレクトーン演奏 みんなで歌おう

平成29年年度表彰者
さいたま市社会福祉大賞

市長表彰

個人
コーラスはなみずき様森 文子様・森下志津子様
福原奈保子様・細谷美喜子様
新井 元子様・越智美和子様

長年に亘り、音楽を通じたボランティアとして、地域の福祉施設や病院、地区社会福祉協議会の事業に積極的に協力してきました。



日時	場所	内容
十一月二六日（火） 一部 九時三〇分 二部 十一時三〇分	七里公民館 レクホール	『書き初め』作品制作 冬休みの課題 書き初め用道具一式 新聞紙、用紙、上履き 小三～中三まで

さいたま市社会福祉協議会

特別賛助会員への加入

一口 一万円

十口

一 口

一 口

一 口

一 口

一 口

一 口

一 口

一 口

一 口

一 口

一 口

一 口

ご協力いただけの方は、当地区
協事務所へご連絡ください。
します。賛助会費は、地域福祉活動を進
めていく上で最も重要な財源とな
っています。一人でも多くの方に
活動の趣旨をご理解いただき、ご
協力いただきますようお願いいた
します。

TEL・FAX
七里地区社協事務所
開設日時 月曜日～金曜日
午後一時～六時まで
(祝日及び年末年始は除く)
六八七一九九九七

七里地区の皆様に、地区社協の活動
を知つていただき、より良い情報をよ
り見やすくお届けしようと、広報紙
『いなほ』を発行しています。
今後も、様々な事業を予定していま
すので、多くの皆様に参加していただ
き、ご意見・ご要望がありましたら、当
地区社協までお寄せください。
今後とも皆様のご指導とご支援と
ご協力よろしくお願ひいたします。

◆編集後記◆